



人から人へ心つながる共生都市くまがや

熊谷の地域福祉について考えよう

支え合い 助け合い 共に生きる

福祉のまちづくり

本市では今年3月、社会環境の変化や多様化する福祉ニーズに対応し、誰もがその人らしく安心して生活を送ることができる地域社会を築くため、「熊谷市地域福祉計画」を策定しました。今回はその地域福祉計画について、「ニャオざね」の質問に「くま博士」が答えます。

◆福祉課内線295

勇気がいるし、尊いことじゃ。しかし、もつと身近にできる福祉もあるんじゃないよ。

ニャオざね それはニャオざねにもできることかじゃ?

博士 実は、地域の行事に参加したり、ご近所の人にあいさつしたりすることも「地域福祉」なのじゃ。

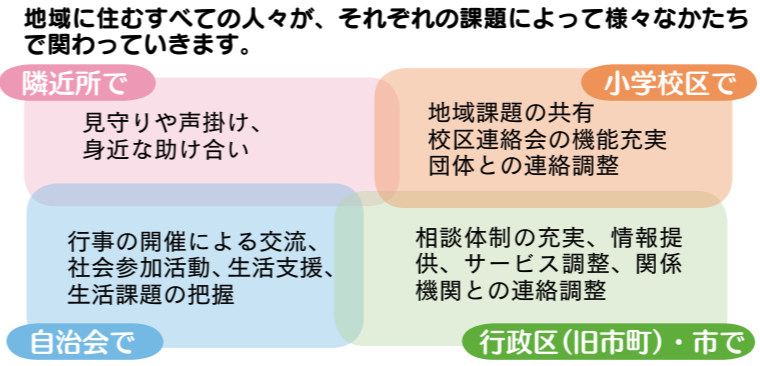
ニャオざね えっ?なんか「福祉」ということばの響きとかけ離れているにゃ。イベントに参加したり、ご近所の人とおしゃべりしたりするのは大好きだけど、それも本当に「地域福祉」になるのかじゃ?

博士 なるのじゃ。近所にはニャオざねの明るい声が聞けることで、安心感を得ているおばあちゃんもいるのじゃよ。ニャオざねにも「何気ないことでホッとする瞬間」ってあるじゃろ。その瞬間を熊谷市のみんなが感じられるよう、「熊谷市地域福祉計画」を策定しました。

博士 そうじゃ。無理をせず、できることからはじめていくことが大切なのじゃよ。「地域福祉計画」って何?

「地域福祉計画」って何?

ニャオざね 地域福祉計画ってどうやって決めたのかじゃ?
博士 市民の皆さんに協力していただいたアンケートなどから熊谷市の地域課題を確かめた後に、市民会議を開催したのじゃ。そこで出された意見や調査結果を踏まえ、どんな計画が良いか考えたのじゃ。



ニャオざね 「自助・自助・公助」って難しい言葉だにゃ。
博士 「自助」とは「自分でできることは自分ですること」。「自助」とは「仲間が集まればできること」。「公助」とは「行政が福祉サービスを提供すること」じゃ。きめの細かい福祉サービスを提供するためには、関係者で連携していくことが大切なんじゃ。また、医療・介護分野の財政負担が増大

ニャオざね 色々な人とふれあう機会が増えることは良いことだにゃ。市でも色々な取り組みをしているんだにゃ。
博士 そうじゃ。ニャオざねも、将来は色々な立場から福祉を支えるハートフルな熊谷市民を目指すのだぞ。ニャオざね 頑張るにゃん。

ニャオざね 4つとも幅広い言葉だにゃ。「市民参加による地域福祉の推進」、「地域ネットワークによる支え合いの構築」っていうのは何をしたら良いのかじゃ。
博士 例えば、地域の人が集まるお祭りや、地域で開催される行事に参加することじゃ。知り合いが参加している地域行事なら、「行ってみようかな」という気持ちが生まれ、参加しやすくなるじゃろ。市民活動に参加しやすい仕組みをつくり、活動の輪を広げていって欲しいのじゃ。

ニャオざね うちのおばあちゃんはお裁縫がとっても上手にゃ。公民館で開催する発表会のときは、みんなに見てもらって嬉しそうだったにゃ。じゃあ「福祉サービス」の適切な利用の推進、「安全で安心して生活環境の実現」のためにどうすれば良いのかじゃ。
博士 まずは、どんな組織がどんな福祉サービスを提供しているか知ってほしいのう。そして、福祉サービスの適切な利用を推進するために、福祉サービスに対する要望も聞かせてくれると嬉しいぞ。また、ごみ出しや路上駐車などのマナーを守ることも大切じゃよ。



ニャオざね ©熊谷市



▲身近な地域福祉の取組み(民生委員による見守り活動)



▲身近な地域福祉の取組み(防犯ボランティア)

し、公助だけでは支えきれなくなっている今、自助や共助などの自発的な福祉活動が必要不可欠なんじゃ。

ニャオざね その「自発的な福祉活動」をみんなで実践したら、熊谷はどんな街になるのかにゃ?
博士 まさしく「ハートフルタウン熊谷」になるじゃろ。やさしさに溢れた街づくり、人の内面から美しい街づくりができるよう、みんなに協力してほしいのじゃ。

ニャオざね そのためにはどんなことをしたら良いのかにゃ?
博士 実現のために、地域福祉計画では目標を決めたので、実践してほしいぞ。

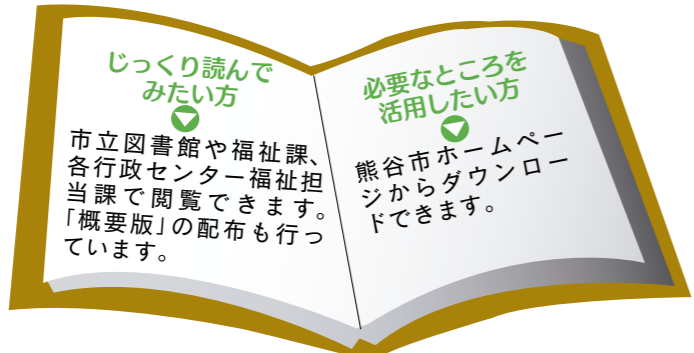
ニャオざね どんな目標かじゃ?
博士 実現のために、地域福祉計画では目標を決めたので、実践してほしいぞ。

目標	1 市民参加による地域福祉の推進	2 地域ネットワークによる支え合いの構築	3 福祉サービスの適切な利用の推進	4 安全で安心して生活環境の実現
実践課題	・地域・福祉への意識を高める	・地域ぐるみの支援体制の構築 ・地域交流の促進 ・社会参加の促進	・福祉関係組織の充実・連携 ・情報提供・相談支援体制の構築 ・福祉サービス利用の推進	・災害時の対応 ・見守り活動の推進 ・健康づくり ・人にやさしいまちづくり

「熊谷市地域福祉計画」はここで見られます!



くま博士



8月29日
元気!熊谷っ子まつり



ビンゴ大会

中央公園で開催され、ビンゴ大会や、竹とんぼや水鉄砲などの伝承遊び、木工キット組立など、子どもたちは青空の下、色々な遊びを楽しんでいました。

会場に駆けつけあいさつをする富岡市長

9月13日
第89回全国高校ラグビー埼玉県大会開会式



花園ラグビー場で開催される全国大会の出場をかけた高校生ラグビーの戦いが始まり、熊谷にラグビーの暑い季節が到来しました。

熊谷市防犯のまちづくりに関する協定



8月26日
防犯のまちづくり協定を締結

市内の日本郵政グループ4社と防犯協定を結びました。合計で200台を超える車両が、市の防犯活動に協力して下さることになりました。



8月21日
第29回高齢者芸能大会



熊谷文化創造館さくらめいとで、市内各地区の高齢の皆さんが、踊り、ダンス、合唱、詩吟、三味線などを披露し、交流を深めました。

8月23日
あっぱれ!熊谷流「緑化講座」



NPO法人埼玉ガーデン・ガーデニングへ委託した緑化講座が、県立熊谷農業高校で行われました。参加した皆さんは、楽しみながらハンギングバスケットをつくりました。

8月27日
妻沼大我井神社(富士浅間神社)火祭り



古代の火鑽具によって起こされた火を、巫女姿になった地元小学生が受け取り、積み上げられた薪に点火すると、立ち上がった2本の巨大な火柱が、訪れた観客を魅了しました。

Topics Kumagaya

9月1日
関東大震災朝鮮人犠牲者追悼式



追悼のことばを述べる富岡市長

関東大震災により犠牲になられた朝鮮人の方々の慰霊のため、メモリアル彩雲で追悼式が行われました。

9月1日
第3石原児童クラブ・第2籠原児童クラブオープン

石原小学校内に第3石原児童クラブが、籠原小学校敷地内に第2籠原児童クラブが、新たに開設されました。



第3石原児童クラブ

8月23日
ムサシトミヨ親水イベント



ムサシトミヨ保護センターで、ムサシトミヨと水に親しむイベントが開催されました。久下熊久地区のムサシトミヨのお御も登場し、子どもたちが威勢よく元気に担いでいました。

おたよりパレット

テーマ

夏休み

たくさんのおたよりから、旅行、ラジオ体操、自由研究、プールなど皆さんの満喫した夏休みをうかがえました。いくつになっても、いつの時代でも、夏休みは楽しみなものですね。

※おたよりパレットは、市ホームページ <http://www.city.kumagaya.lg.jp/>でも、更に詳しく紹介しています。

市報クイズ8月号で寄せられたご意見を紹介します。

- 小学生のとき、早起きして子ども会のラジオ体操に参加していました。あの頃は健康のためではなく、出欠のカードにスタンプがたまると夏休みの最後に景品をもらえるので、それを楽しみに早起きをがんばっていました。(30代・女性)
- 夏休みといえば、毎日通った小学校のプールです。背中の日焼けは、あまりに真っ黒で、母が心配するほどでした。しかし、そのおかげで冬も風邪をひくことなく元気に過ごせました。(40代・男性)
- 息子が夏休みの宿題で、アゲハ蝶の観察をしていました。幼虫からサナギとなり、ある朝、蝶になったのを見たときの嬉しそうな顔を、今でも思い出します。その息子が、今では自分の子どもの宿題を手伝っています。(60代・女性)
- 毎年夏休みには、おばあちゃんと雪くまを食べに行っています。もつと熊谷の名物を知って、おばあちゃんと一緒に食べに行きたいです。(10代・女性)
- 5歳の娘は、夏休みも保育所に通っているの、「夏休みって何?」と聞いてきます。「8月の花火大会は夏休みになったらあるんだよ。」と言ったら、当日の朝から「今日は夏休みだー!」と大喜びしていました。花火大会の一日は娘にとって楽しい夏休みになったようです。(30代・女性)

応募方法

ハガキまたはEメールに、クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・今月のテーマ「秋の夜長」についてのコメントを必ず記入のうえ、10月21日(水)までにご応募ください(一人につき一通)。
※コメントがないものは無効となります。

《応募先》
〒360-8601 宮町二丁目47番地1 熊谷市広報広聴課
☎ kohokocho@city.kumagaya.lg.jp
※なお、市内の商店・企業を知っていたらという趣旨で、当選者にはプレゼント引換券をお送りしますので、お店でご利用ください。当選者の発表は、プレゼント引換券の発送をもって代えさせていただきます。

8月号の
正解
①熱中症 ②ごはん
◆応募総数138通中、正解132通

今月のテーマ、「秋の夜長」にいただいたコメントは、「おたよりパレット」や市ホームページで紹介させていただく場合があります。

今月号の問題

- 次の□に入ることばを、それぞれお答えください。
- ①市の様々な情報をお届けする熊谷市メール配信サービス□をご利用ください。
 - ②誰もが安心して生活を送ることができると地域社会を築くため、「熊谷市地域□計画」を策定しました。

今月のプレゼント

ハナキヨご提供の「花とみどりのギフト券(500円)」を、正解者の中から抽選で20人に差し上げます。

ハナキヨ

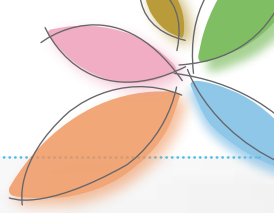
住所:中西4-4-25
(熊谷総合病院 隣)
電話:048-522-4303



読んで
当てよう?

市報
クイズ

情熱世代 夢追い人



娘さんの峰子さん(前列右)と研修生の藤野衛さん(後列右)、里見洋一さん(後列左)と深谷さん夫妻



農業への情熱

14年前に、当時の江南町に引っ越してきました。本格的に農業をやるために経営地を広げようと、埼玉県各市の農業委員会へ借りられる農地があるかシラミつぶしに問合せを探しました。そして農業仲間の協力もあり、やっと江南地域を見つけ、こちらで農業をしています。現在は私たち夫婦と一人娘で米や小麦、大豆のほか野菜を60種類作っています。

私たちは最初から有機無農薬野菜にこだわってきました。味が良いのはもちろんですが、なにも人の体に入らないのも、命を支えるものから安全の安心を作ります。心をかけています。

家族で野菜作りと人づくり

農業 深谷文夫さん・恵子さん(千代)

農地に人を呼び戻したい

私たちは、ここまで来るのに自分でも勉強しましたが、いろいろな方からいろいろ教えて頂きました。そういうことに恩返しがたくて5年前から農業研修生を受け入れています。現在は3人の研修生を約1年間の期間で教えています。農業技術や生物に関する知識などももちろん。そして何ととっても人付き合いです。農村には独自の風習や生活習慣や考え方があり、非農家の者から見るとビックリする様な事もあるのですが、そんなこともウチに通つてく中で有形無形の形で吸収していったらいいなと思っています。ま、簡単に言うとう、皆さんと仲良くして可愛がられる人になれて事ですかね。

うちは固定種などの種採りもよくするので珍しい野菜があるので、野菜の名前はもちろん、その野菜の美味しい食べ方までちゃんと説明できるように頑張ってほしいと思っています。また、一度の災害で手塩にかけた作物がたちまちダメになってしまうことも、たまにあります。そこから立ち直るための根性というかそういう強い気持ちも必要です。こうして山河乗り越えて自信をつけた若者の顔を見ると、あらためて農業のやりがいを感じられます。

今はとにかく畑に人がいなくなつてしまいました。私は自分のできる方法で農地に人、特に若者を呼び戻したいと思っています。ですから、気軽に農業体験ができるよう偶数月の第3土曜日の午後、私たちの農場を開放しています。皆さんもぜひ、農業を体験してみませんか？

あなたもできる
健康
recipe

カラダの中から活性化

栄養たっぷりの葉と消化吸収を助ける根。秋かぶをまるごといただく!

根の部分はビタミンCのほか、消化酵素であるジアスターゼを多く含み、食べ過ぎ、胃のもたれ等に効果があります。

葉はカロテン、ビタミンC、カルシウム、カリウム、鉄、食物繊維などを豊富に含み、便秘や肌のトラブルにも効果があります。

(社) 埼玉県栄養士会 高橋 茂子

消化吸収促進

胃もたれ改善

便秘予防

かぶのえびそぼろ煮



■材料・4人分

- 〈1人分 136 キロカロリー〉
- かぶ(葉つき) 6個
- えび(殻つき) 300g
- しめじ 1パック
- 片栗粉 大さじ1~2
- [A] えびの下味
- 酒 大さじ2
- 塩 小さじ1/2
- [B] 煮汁
- 水 2~3カップ
- みりん 大さじ3
- うすくちしょうゆ 大さじ1~1/2
- 和風だし 適量

■作り方

- ①かぶは茎を2cm程残して葉を切り、皮をむいて縦半分に切る。葉は少し取ってさつとゆで、冷水にとり水気をきって幅5mmに切る。
- ②えびは殻をむいて背わたをとり、ざく切りにする。ボウルに入れて[A]を振り混ぜ下味をつける。しめじは根元をとって長さを半分にし、ほぐす。
- ③鍋に[B]とかぶを入れ火にかけ、かぶが柔らかくなったらしめじを加える。えびも加えて色が変わったら、水溶性片栗粉でとろみをつける。
- ④仕上げにかぶの葉を加え、器に盛る。

●健康づくり課 TEL 048-528-0601

人口と世帯 ●平成21年9月1日現在(対前月比)

■人口 206,057人(+135) 男 103,063人(+96) 女 102,994人(+39)

■世帯 81,569(+122)

「市報くまがや」は、毎月1日(原則)に発行します。

「市報くまがや」は、再生紙を使用しています。

●発行日 平成21年10月1日

●発行 熊谷市 ●編集 広報広聴課 〒360-8601 熊谷市宮町二丁目47番地1

TEL 048-524-1111(内線206)

FAX 048-520-2870